
世田谷区のスポーツに関する現況

(1)基礎データ

- ①人口・世帯構成

(2)区民スポーツ活動状況

- ①スポーツ実施率
- ②障害者のスポーツ実施状況
- ③子どもの体力・運動能力調査
- ④新型コロナウイルス感染症の影響
- ⑤する・みる・ささえるの観点

※スポーツ観戦、スポーツボランティア参加に関するデータはない

(3)スポーツ実施環境

- ①スポーツ施設、学校開放

(4)スポーツを支える担い手

- ①公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
- ②スポーツ推進委員
- ③総合型地域スポーツ・文化クラブ
- ④スポーツ協会・競技団体
- ⑤企業・大学との連携
- ⑥プロチームとの連携

(5)世田谷区の主なスポーツイベント

(6)関連政策・計画

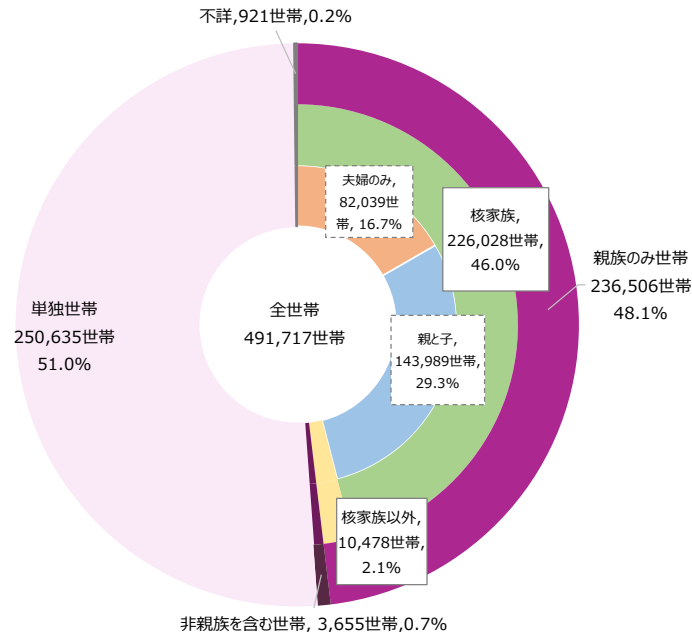
- ①健康・福祉
- ②教育・子ども
- ③東京2020大会のレガシー継承

(1)基礎データ

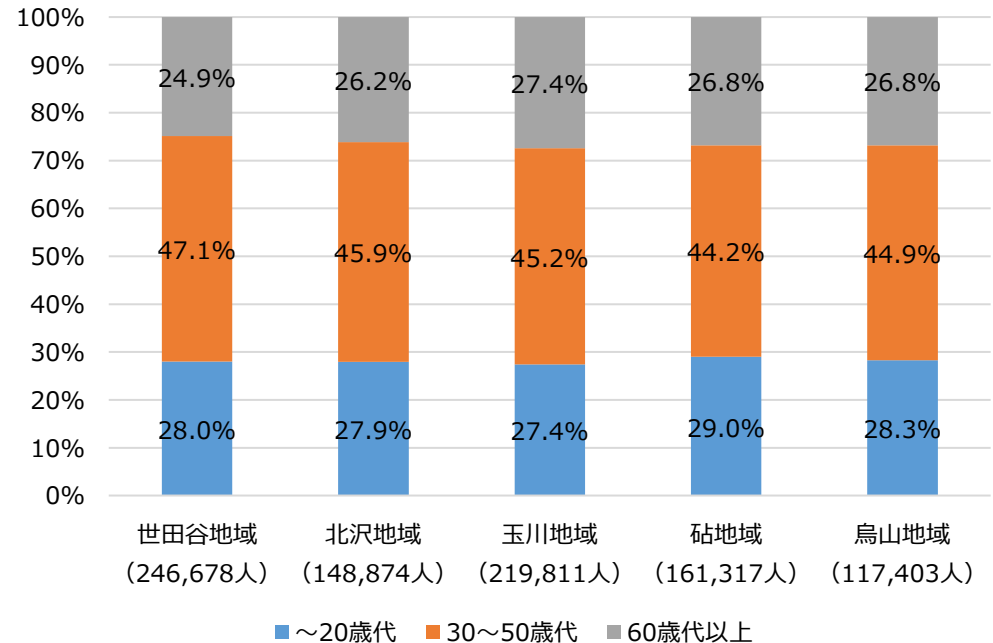
①人口・世帯構成(地区別・性年齢階級別)

- 人口は令和2年(2020年)に92万人を超えて23区最大となっており、平成24年(2012年)から9.0%増加している。将来人口推計では、令和6年(2024年)まで人口減となるが、その後、人口増に転じ、微増傾向が継続し、令和21年(2039年)の922,770人をピークに減少に転じる。
- 年齢階級・世帯構成として、区内全域で単身世帯が51.0%と約半数を占め、特に流出入率の高い20代から30代の単身世帯が多い。
- 地域別の年齢構成比をみると、砧地域で20歳代以下が多く、玉川地域で60歳代以上、世田谷地域で30～50歳代の割合が多い。なお、80歳代以上は烏山地域(7.8%)、砧地域(7.6%)の順に多い。

<世帯構成>



<地域別の年齢構成>

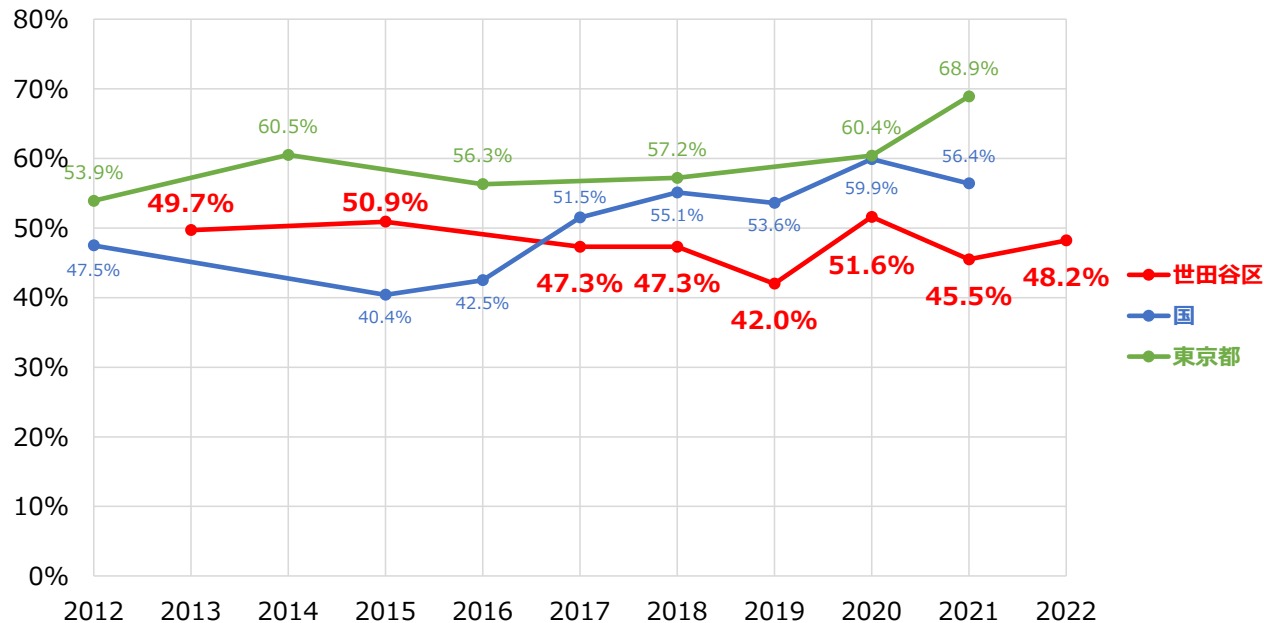


(2)区民スポーツ活動状況

①スポーツ実施率

- 区全体のスポーツ実施率は48.2%と横ばいに留まり、国・東京都・他自治体に比べて低く、目標(令和5年度末65%)達成は難しいため、向上が必要である。また、スポーツの認識や定義の見直しが必要である。
- 余暇活動でのスポーツ・レクリエーションの認識・関心・ニーズに応じ、情報提供・関心喚起の段階から始め、スポーツ・レクリエーションに親しむシーンを増やし、身近に採り入れられるスポーツ・レクリエーションの浸透・理解を広める必要がある。

<スポーツ実施率の推移>



出典) 世田谷区「区民意識調査」、東京都「都民のスポーツ活動に関する実態調査」、スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(各年度)

注1) スポーツ実施率は週1回以上の運動・スポーツを実施している割合を示す。世田谷区調査では「スポーツや運動(ウォーキングや軽い体操、介護予防のためのトレーニング、様々なレクリエーションなどを含む)」としている。

注2) 国の調査では、平成29年度以降、日常生活において気軽に取り組める身体活動を広く含むことを認識してもらうため、平成28年度の種目に対し、「階段昇降」、「ウォーキング」の例示として「一駅歩き」、「自転車」の例示として「BMX」、「エアロビクス・ヨガ」に「バレエ・ピラティス」を追記する等の見直しを行った。

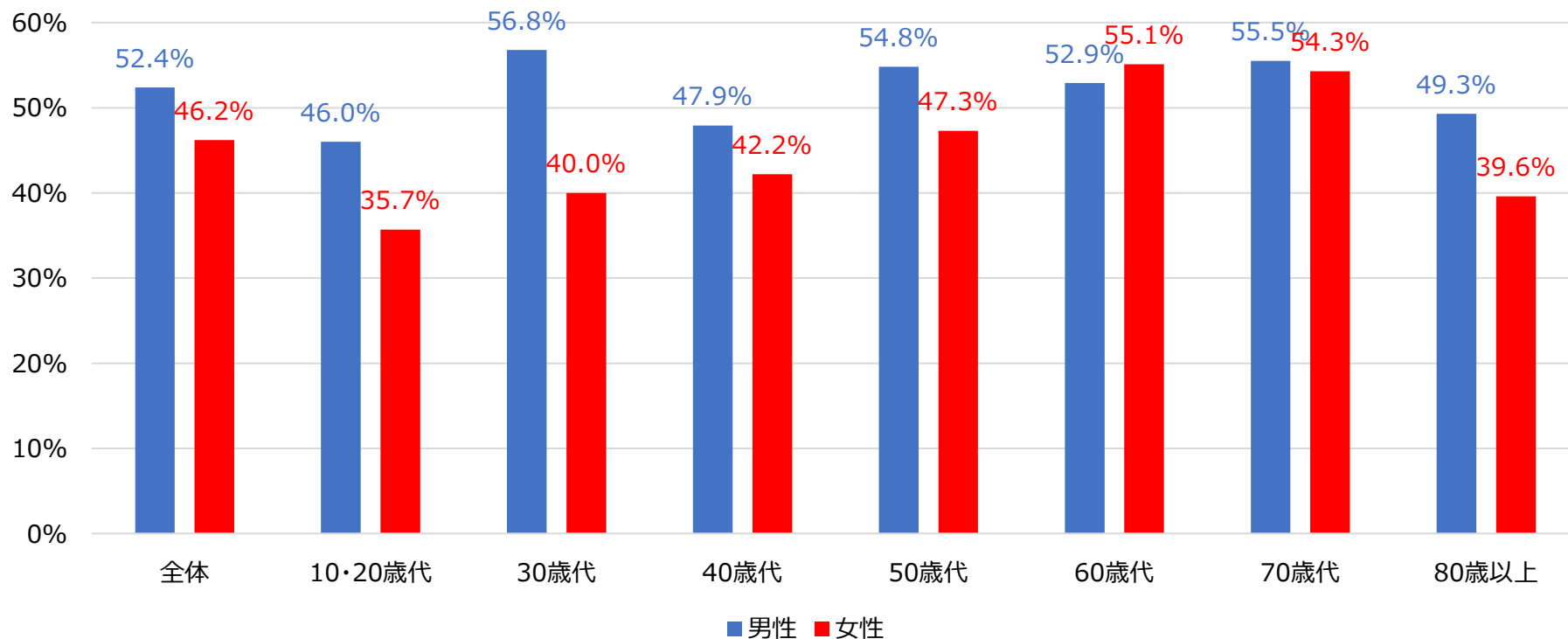
注3) 「世田谷区民の健康づくりに関する調査」(令和3年3月)では「少し息がはずむ程度」の30分以上の運動の実施状況については、「週1回以上運動をしている人」は41.1%となっている。

(2)区民スポーツ活動状況

①スポーツ実施率

- 性別では、女性より男性のほうが実施率が高い。男性では、10・20歳代、40歳代、80歳以上の実施率が低く、女性では、10・20歳代～40歳代、80歳以上の実施率が低い。世帯構成の多くを占める20代・30代の単身・働き盛り世代、及び子育て世代のスポーツ実施率が他の世代と比較して低い傾向が継続している。

<スポーツ実施率(性年齢階級別)>



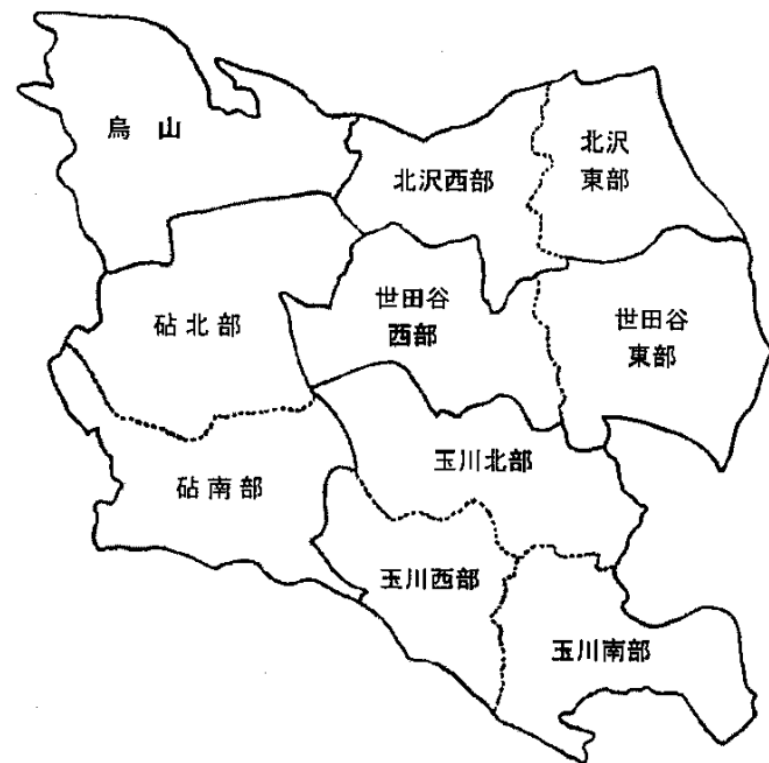
(2)区民スポーツ活動状況

①スポーツ実施率

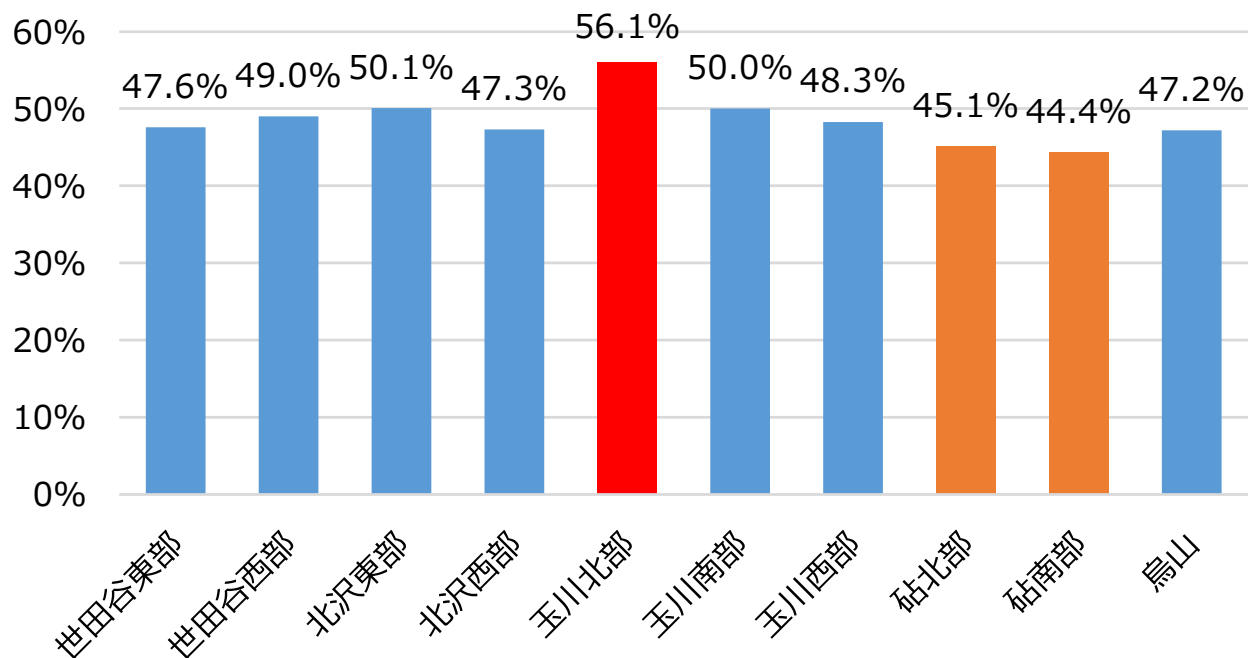
- 地域別では、玉川北部が56.1%と高く、砧北部が45.1%、砧南部が44.4%と低い。

※前掲:砧地域で20歳代以下が多く、玉川地域で60歳代以上、世田谷地域で30～50歳代の割合、烏山地域、砧地域で80歳代以上が多い。

<世田谷区の全図(地域別)>



<スポーツ実施率(地域別)>

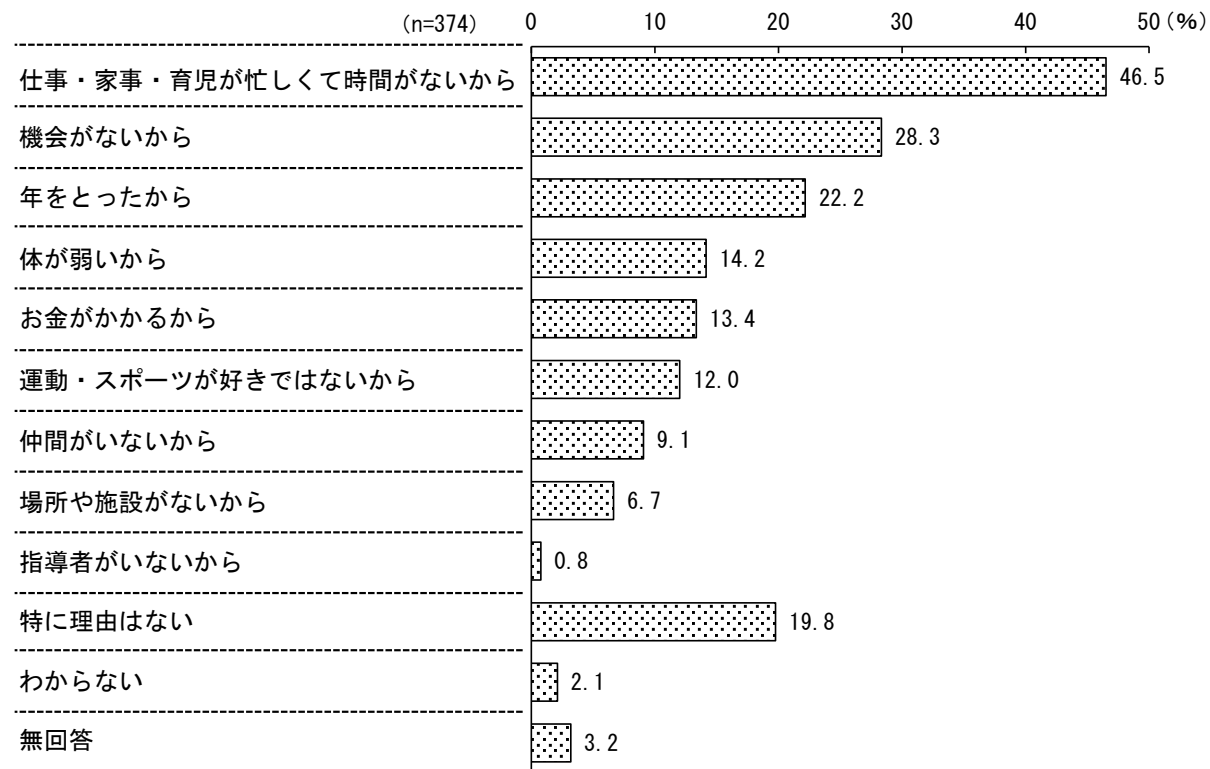


(2)区民スポーツ活動状況

①スポーツ実施率

- スポーツを実施しない理由は、仕事や家事、育児が忙しいという回答が多くなっている。

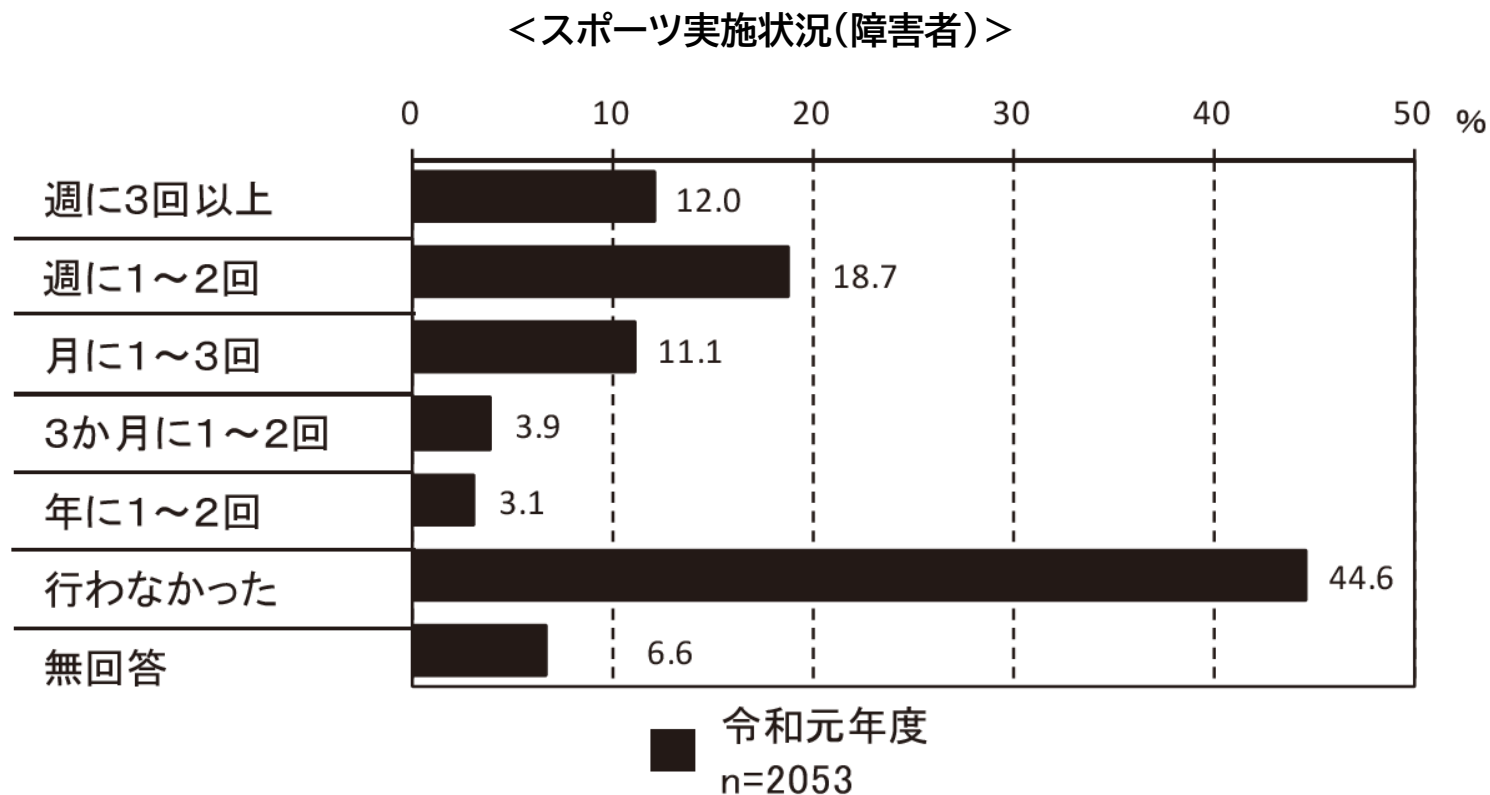
<スポーツを実施しない理由>



(2)区民スポーツ活動状況

②障害者のスポーツ実施状況

- 障害者のスポーツ実施率は30.7%に留まっている。全く行わなかった割合は44.6%に上る。
(令和3年結果、同年国では46.4%、東京都では37.0%)



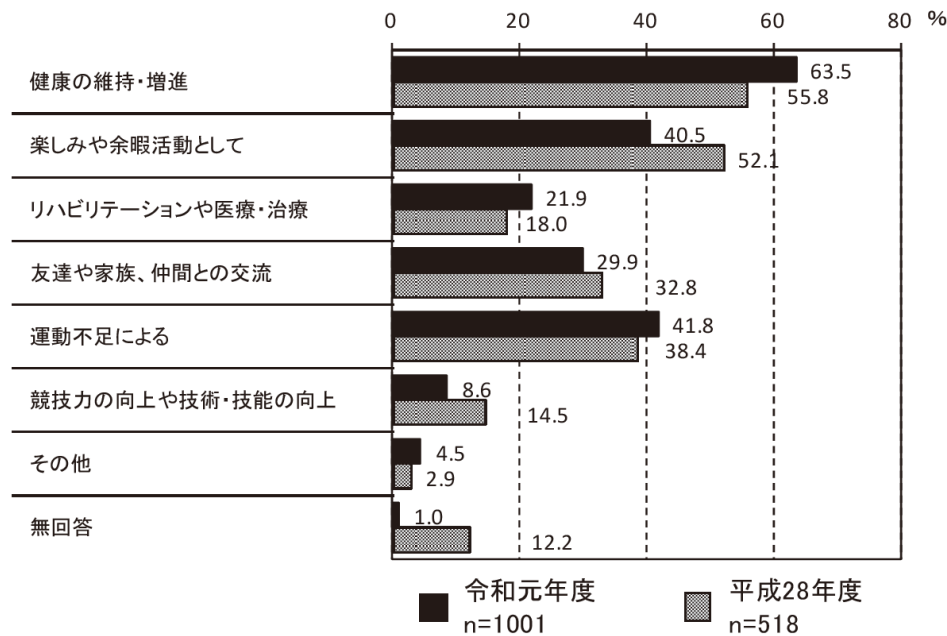
出典)世田谷区「世田谷区障害者(児)実態調査報告書」(令和2年)

(2)区民スポーツ活動状況

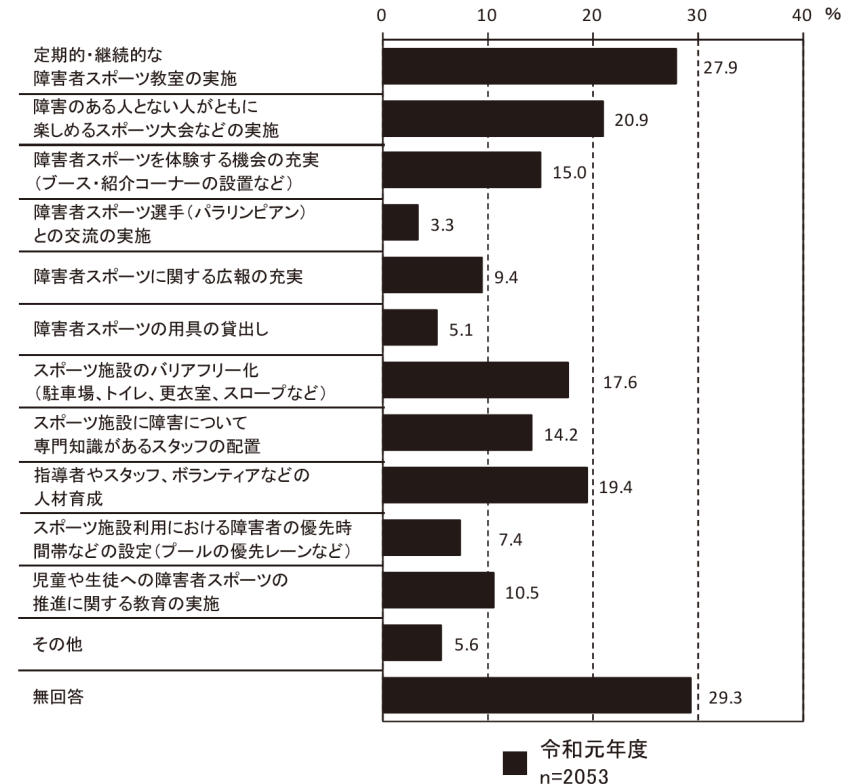
②障害者のスポーツ実施状況

- スポーツや運動をする理由については、「健康の維持・増進」が63.5%と最も高く、「運動不足による」が41.8%、「楽しみや余暇活動として」が40.5%、「友達や家族、仲間との交流」が29.9%となっている。
- 障害者スポーツ推進に必要な取組みについては、「定期的・継続的な障害者スポーツ教室の実施」が27.9%と最も高く、次いで「障害のある人となない人がともに楽しめるスポーツ大会などの実施」が20.9%となっている。

<スポーツや運動をする理由>



<障害者スポーツ推進に必要な取組み>



出典)世田谷区「世田谷区障害者(児)実態調査報告書」(令和2年)

(2)区民スポーツ活動状況

③子どもの体力・運動能力調査

- 体力については、小学校では東京都平均より低い傾向だが、中学生では東京都平均より高くなっている。
- 運動実施は、小学校6年生・中学校3年生男子で東京都平均より低い、その他は東京都平均より高い。
- 運動好ききらいは、小学校2年生・4年生で東京都平均より低い、その他は東京都平均より高い。

<世田谷区の子どもの体力・運動実施状況>

体力合計点		体力合計点(点)				運動実施【毎日】(%)				運動好ききらい【好き】(%)			
		男子		女子		男子		女子		男子		女子	
		世田谷区	東京都	世田谷区	東京都	世田谷区	東京都	世田谷区	東京都	世田谷区	東京都	世田谷区	東京都
小学校	1年生	29.1	29.4	28.9	29.3	31.6	28.7	19.7	19.7	73.9	72.9	71.1	71.1
	2年生	36.6	37	36.4	37.2	42.8	38.4	24.8	23.6	73.6	72	67.0	67.3
	3年生	42.9	43.2	43.3	43.6	52.1	46.8	32.7	30	74.4	72.4	67.0	64.7
	4年生	48.8	48.9	49.4	50	55.2	52.4	36.0	35.6	74.3	72	61.5	61.6
	5年生	54.9	54.2	55.5	55.9	55.5	52.7	35.2	35.3	73.9	70	60.3	58.2
	6年生	69.7	59.6	61.0	61.1	47.7	49.1	30.6	30.2	70.0	66.8	58.7	54.3
中学校	1年生	33.6	32.7	44.6	44.2	72.8	71.2	57.1	56	70.7	67.3	57.5	53.4
	2年生	41.3	40.9	51.0	49.6	73.4	72.7	60.0	55.8	65.2	62.4	55.3	50.5
	3年生	47.8	47.8	53.1	51.7	58.9	63.8	52.5	49.9	61.5	60.2	51.6	46.8

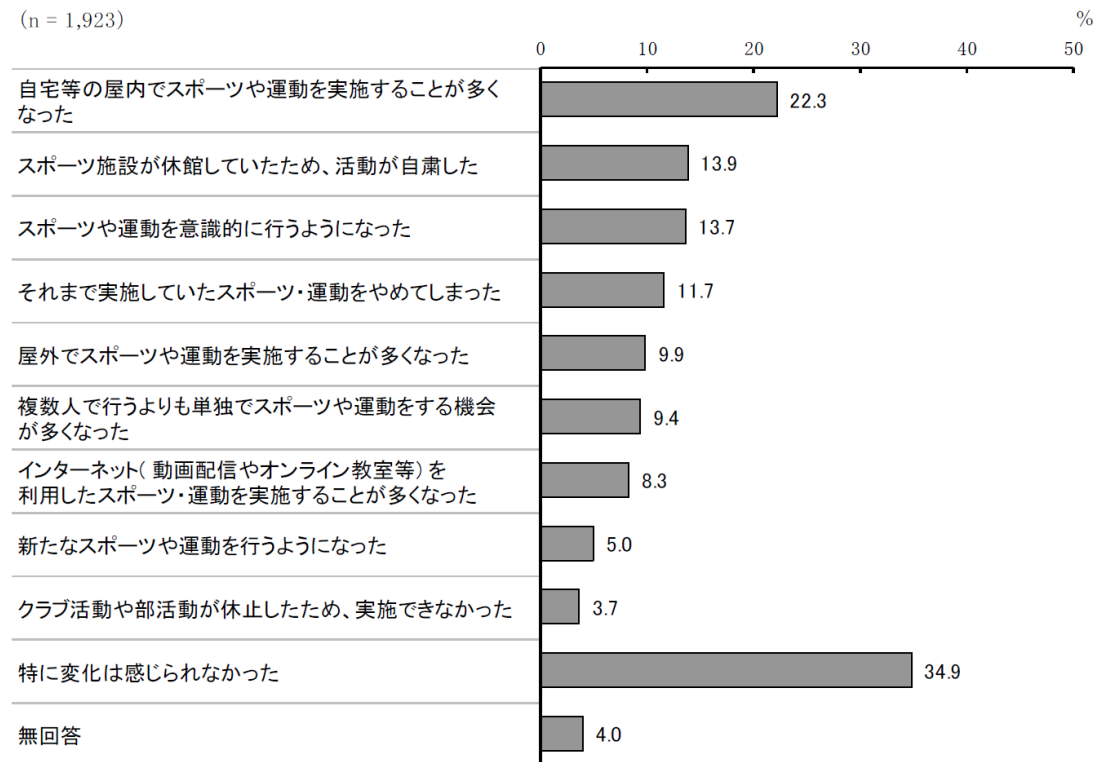
出典)東京都「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」(令和元年度)

(2)区民スポーツ活動状況

④新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴うスポーツ実施環境の変化は、「自宅等の屋内でスポーツや運動を実施することが多くなった」(22.3%)が2割を超えて最も高く、以下、「スポーツ施設が休館していたため、活動が自粛した」(13.9%)、「スポーツや運動を意識的に行うようになった」(13.7%)などと続く。「特に変化は感じられなかった」(34.9%)は3割半ばとなっている。

<新型コロナウイルス感染拡大に伴うスポーツを実施する環境の変化>



(2)区民スポーツ活動状況

⑤する・みる・ささえるの観点

- 国の第2期基本計画の3つの視点である「する・みる・ささえる」、及び第3期基本計画の3つの視点の「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」から見る世田谷区の現状は以下の通りである。
- 「みる」スポーツの観戦体験やスポーツボランティア参加など「ささえる」スポーツの場面も少ないため、より多様なスポーツの楽しみ方を訴求することで、「する」スポーツに対する気運醸成を図る必要がある。

<国の基本計画の視点から見た世田谷区の現状>

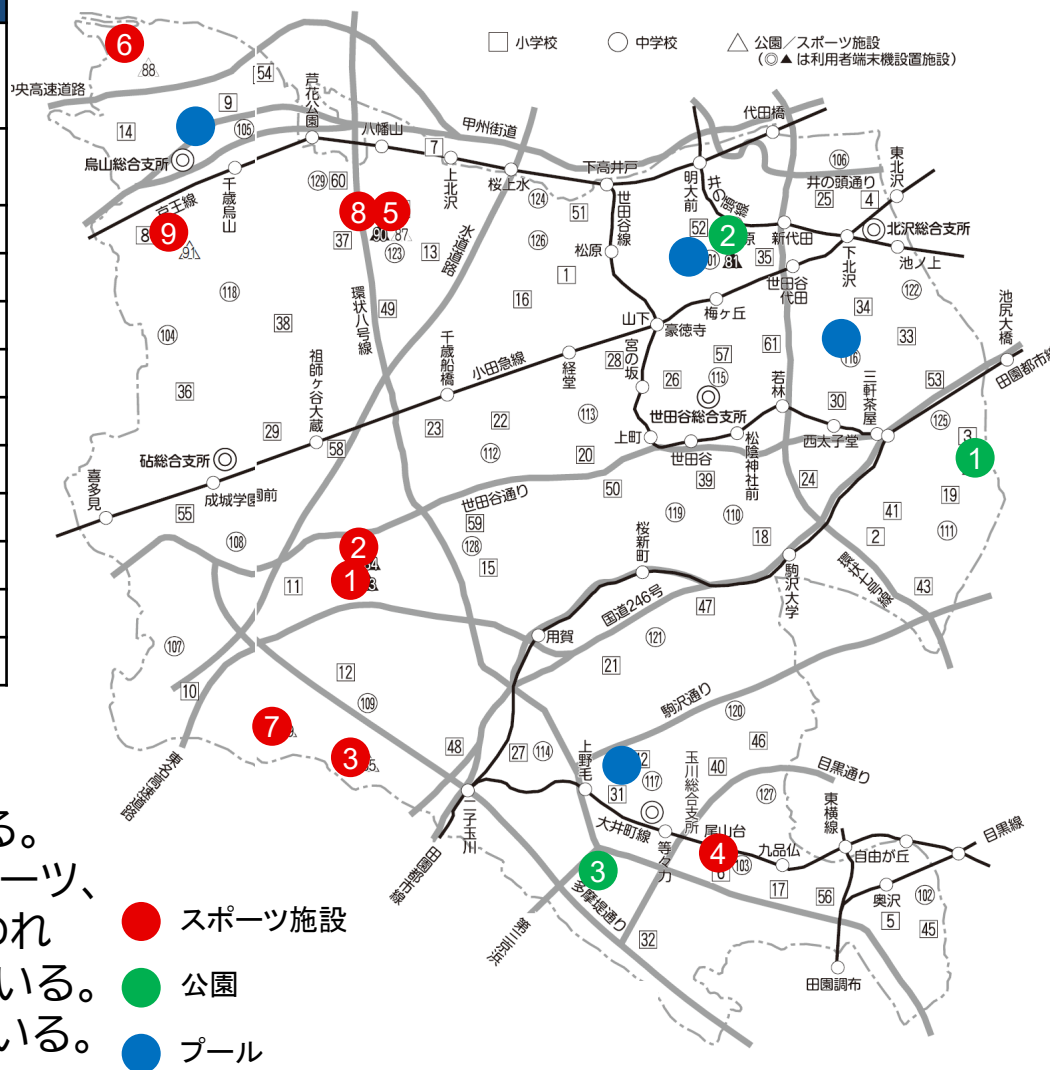
視点	現状
する	<ul style="list-style-type: none">● スポーツ実施率は48.2%と他自治体に比べて低く、目標(令和5年度末65%)達成は難しいため、向上が必要である。世帯構成の多くを占める20代・30代の単身・働き盛り世代、及び子育て世代のスポーツ実施率が他の世代と比較して低い傾向が継続している。実施しない理由は、仕事や家事が忙しいという回答が多くなっている。
みる	<ul style="list-style-type: none">● プロスポーツ大会の開催される施設を有せず、観戦環境は十分でない。
ささえる	<ul style="list-style-type: none">● パラスポーツ向けゆにすぽナビボランティア登録制度や世田谷区スポーツ・レクリエーション指導者制度などの支援する体制はあるが、活用しきれてない。
「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」	<ul style="list-style-type: none">● パラスポーツ体験会の開催等による普及や、障害のある人もない人も共に楽しめる交流に取り組んでいる。

(3)スポーツ実施環境

①スポーツ施設、学校開放

●区有スポーツ施設(スポーツ施設を有している公園を含む)

	施設名	概要
スポーツ施設	1 総合運動場	体育館、武道場、弓道場、体育室、洋弓場、プール、陸上競技場、テニスコート、野球場、トレーニング室
	2 大蔵第二運動場	体育館、テニスコート、ゴルフ練習場、トレーニング室、屋外プール
	3 二子玉川緑地運動場	サッカー場、球技場、野球場
	4 尾山台地域体育館	体育館、トレーニング室
	5 希望丘地域体育館	体育館
	6 北烏山地区体育室	体育室
	7 リコー砦総合運動場	テニスコート
	8 千歳温水プール	プール、体育室、トレーニング室
	9 J&Sフィールド	野球場、テニスコート
公園	1 世田谷公園	軟式野球場、サッカー場、テニスコート
	2 羽根木公園	軟式野球場、テニスコート
	3 玉川野毛町公園	軟式野球場、テニスコート、屋外プール



●学校開放

61小学校、28中学校では学校開放を行っている。
ダンス・軽体操、武道系、屋内スポーツ、屋外スポーツ、
会議・学習・趣味系、芸術・音楽系での利用が行われている。
小学校では遊び場(BOP)開放も行っている。
中学校温水プールについても区民開放を行っている。

(4) スポーツを支える担い手

①公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団

●設立目的

- ・世田谷区民のスポーツ及びレクリエーション活動を普及振興すること
- ・心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会の形成に寄与すること

●自主事業

スポーツ及びレクリエーション 振興事業(第1号事業)

ライフステージに応じた教室、大会等各種事業を展開し、区民のスポーツ及びレクリエーション活動の振興を図る。

<主な事業>

- ・世田谷ジュニアアカデミー
- ・世田谷246ハーフマラソン
- ・子ども駅伝
- ・子ども対象事業
- ・成人対象事業
- ・高齢者対象事業
- ・障害者対象事業 等

スポーツ及びレクリエーション 普及啓発事業(第2号事業)

ライフステージに応じて、気軽を楽しむことができる事業を実施し、区民のスポーツ及びレクリエーション活動の普及啓発を行うとともに、活動できる環境の整備を図る。

<主な事業>

- ・区民スポーツまつり
- ・親と子のつどい
- ・親子スポーツ観戦デー
- ・元旦あるこう会
- ・多摩川ウォーク 等

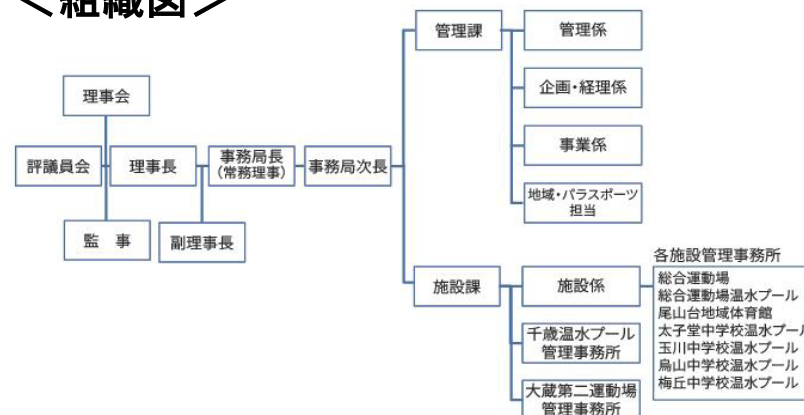
スポーツ及びレクリエーション 団体育成事業(第3号事業)

区内のスポーツ・レクリエーション団体を支援し、地域における区民のスポーツ及びレクリエーション活動を推進する。

<主な事業>

- ・総合型地域スポーツ・文化クラブ育成
- ・賛助会員選手強化助成
- ・地域活動団体支援

<組織図>



(4)スポーツを支える担い手

①公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団

●受託事業

区から受託するスポーツ及びレクリエーション事業(第4号事業)

区から受託したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、区民に対し、より一層スポーツ及びレクリエーション活動の振興を図る。

<主な事業>

スポーツ施策振興事業(スポーツ推進委員との連携)

区から受託する社会体育施設の管理及び運営(第5号事業)

各施設の管理運営について、利用者サービスの向上を図り、広く区民のスポーツ及びレクリエーション活動を推進する。

指定管理者施設

- ・総合運動場
- ・総合運動場温水プール
- ・二子玉川緑地運動場
- ・大蔵第二運動場
- ・千歳温水プール

運営委託施設

- ・尾山台地域体育館
- ・希望丘地域体育館
- ・J&Sフィールド
- ・太子堂中学校温水プール
- ・玉川中学校温水プール
- ・烏山中学校温水プール
- ・梅丘中学校温水プール
- ・池尻小学校第2体育館
- ・八幡山小地域体育館 等



(4)スポーツを支える担い手

②スポーツ推進委員

- 地域の特徴を生かしてスポーツ推進委員が生涯スポーツ情報の発信、地域での生涯スポーツのコーディネーターとしてイベント・行事参画を行っている。(令和4年度現在、48名)
- スポーツ推進委員のフォローアップ・マッチングの支援が必要である。

<世田谷区スポーツ推進委員の活動>

**こんにちは
スポーツ推進委員です**

推進委員はどんな活動をしていますか？

スポーツ推進委員は、区民の皆さんが日常的にからだを動かす機会を気軽に持てることを目的に、区主催のスポーツイベントや地域での運動系行事に参画して活動しています。また、個人としてスポーツをする場を探している方には情報提供いたします。

区民、学校、団体の「依頼協力願い」に対して「運動系行事イベント実施運営コーディネート」を提供し、「運動をしたい・探している」方に「情報提供」を行います。

具体的な活動

- 世田谷区内の運動系行事・イベント運営、補助
- スポーツイベントの講師や指導者への連絡調整
- スポーツイベントに使用する用具貸出の連絡調整
- ニュースポーツ・パラスポーツの推進
- せたがや生涯スポーツセミナーの企画、運営

※ 個人情報の取り扱いについて ※
※お預かりしました個人情報(氏名、住所、連絡先等)につきましては、適切な管理に努めるとともに、ご連絡以外の用途に使用をする事はございません。

? 推進委員に連絡を取るには ?

03-3417-2811
世田谷区スポーツ振興財団にお問合せください

★ スポーツ推進委員一覧 ★

世田谷区内を五つの地域に分けて、各地域に区から委嘱されたスポーツ推進委員が一覧の如くおられますので、お預かりした連絡先へ該当地域のスポーツ推進委員から、数日中にご連絡させていただきます

● 烏山地域 ●
(代表) 小野寺 典子
(副代表) 土屋 由紀
木村 博之
諸橋 真奈美

● 砧地域 ●
(代表) 安藤 嘉茂
(副代表) 和久井 直美
松浦 陽子
長江 明子
深井 秀樹
奥岡 美和子
竹内 敦子
長島 大輔
野口 哲雄

● 北沢地域 ●
(代表) 杉本 真
(副代表) 中山 啓子
五十嵐 則子
小田 憲子
廣川 哲
木下 幸太
高森 一明

● 世田谷地域 ●
(代表) 石井 讓二
(副代表) 石井 みつ江
榎網 美子
池田 恵子
濱谷 佳彦
杉村 雅子
安達 晶子
飯島 めぐみ
岡田 貴司子
宿久 達人
竹安 麗子

● 玉川地域 ●
(代表) 飯沼 澄子
(副代表) 山本 恭平
岩下 敦
金矢 光久
櫻井 和代
橋本 孝雄
向坊 理恵
石丸 資敏
澤井 真
木村 孝一

世田谷区
スポーツ推進委員協議会
令和3年度版

SETAGAYA
Host Town USA

※世田谷区は今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンとして登録されており、アメリカ選手団のキャンプ地となる他、日本とアメリカとのさまざまな相互交流事業を実施しています!

(4)スポーツを支える担い手

③総合型地域スポーツ・文化クラブ

- 8つの総合型地域スポーツ・文化クラブが活動している(23区では足立区・大田区に次いで多い)。
- 今後部活動の地域移行に向けた連携強化など、ハブ組織として地域の世代間交流などを創出し、よりポテンシャルを活用していく必要がある。

＜世田谷区の総合型地域スポーツ・文化クラブの概要＞ 出典：東京都地域スポーツクラブ総覧2022

No.	クラブ名	設立年	会員数	対象エリア	スポーツ活動	文化活動	クラブ役員/スタッフ	指導者	年間予算
1	東深沢スポーツ・文化クラブ(HFSCC)	2002	675人	東深沢中学校区等	17種目	8種目	役員7名 スタッフ50名	内部48名 外部10名	300万円
2	ようがコミュニティークラブ(YCC)	2004	650人	用賀中学校区	18種目	4種目	役員14名 スタッフ16名	内部109名 外部0名	200万円
3	烏山スポーツクラブユニオン(ユニオン)	2006	300人	烏山総合支所管内	7種目	0種目	役員4名 スタッフ10名	内部3名 外部16名	200万円
4	しろやま倶楽部(しろやま)	2007	410人	世田谷中学校区	11種目	5種目	役員5名 スタッフ30名	内部24名 外部22名	170万円
5	こまざわスポーツ・文化クラブ	—	—	駒沢・上馬周辺	9種目	4種目	—	—	—
6	翠と溪のスポーツ・文化クラブ(翠と溪)	2012	320人	尾山台中学校区	10種目	9種目	役員8名 スタッフ9名	内部0名 外部30名	18万円
7	若林クラブ	2013	—	若林地区	13種目	3種目	—	—	—
8	一般社団法人ニチジョクラブ	2015	100人	日本女子大近隣	6種目	0種目	役員10名 スタッフ1名	内部0名 外部7名	—

(4)スポーツを支える担い手

④スポーツ協会・競技団体

- 公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団の賛助会員として49のスポーツ・レクリエーション関係団体が活動している。(令和4年6月時点)

<世田谷区のスポーツ・レクリエーション関係団体>

50音順

No.	団 体 名
1	世田谷区 アーチェリー協会
2	世田谷区 親子体操連盟
3	世田谷区 空手道連盟
4	世田谷区 弓道連盟
5	世田谷区 クレー射撃連盟
6	世田谷区 ゲートボール協会
7	世田谷区 健康体操連盟
8	世田谷区 剣道連盟
9	世田谷区 ゴルフ連盟
10	世田谷 サッカー協会
11	世田谷区 柔術連盟
12	世田谷区 柔道会
13	世田谷区 少年アメリカンフットボール連盟
14	世田谷少年サッカー連盟
15	世田谷区 少林寺拳法連盟
16	世田谷区 ショートテニス連盟
17	世田谷区 水泳協会
18	世田谷区 スキー協会
19	世田谷区 スポーツチャンバラ協会
20	世田谷区 スポーツ吹矢連盟
21	世田谷区 ソフトテニス連盟
22	世田谷区 ソフトバレーボール連盟
23	世田谷区 ソフトボール連盟
24	世田谷区 卓球連盟
25	世田谷区 ダンススポーツ連盟

No.	団 体 名
26	世田谷区 テニス協会
27	世田谷区 登山・ハイキング連盟
28	世田谷区 トライアスロン連合
29	世田谷区 なぎなた連盟
30	世田谷区 軟式野球連盟
31	日本ティールボール協会世田谷区連盟
32	世田谷区 馬術連盟
33	世田谷区 バスケットボール協会
34	世田谷区 バドミントン協会
35	世田谷区 バトン協会
36	世田谷区 バレーボール連盟
37	世田谷区 ハンドボール協会
38	世田谷区 ビリヤード連盟
39	世田谷区 フェンシング協会
40	世田谷区 フォークダンス協会
41	世田谷区 武術太極拳連盟
42	世田谷区 ボウリング連盟
43	世田谷区 ボクシング連盟
44	世田谷区 ライフル射撃連盟
45	世田谷区 ラグビーフットボール協会
46	世田谷 ラクロス協議会
47	世田谷区 ラジオ体操連盟
48	世田谷区 陸上競技協会
49	世田谷区 ローラースポーツ連盟

(4)スポーツを支える担い手

⑤企業・大学との連携

- 企業・大学と連携した大会の価値向上や、施設利用、ノベルティ提供、監修協力などを得ている。スポーツを通じたSDGs、DX推進、産業活性化など、新たな付加価値創出に向け、大学・企業の特徴を生かした取り組みの継続・強化が必要である。

企業・大学名	連携内容
一般社団法人日本ボッチャ協会	相互連携協定締結
NPO法人世田谷スポ・レクネット	障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツ・レクリエーション交流事業
株式会社リコー	相互連携・支援協力協定締結、施設区民開放
USOPC(アメリカオリンピック・パラリンピック委員会)	東京2020大会アメリカ合衆国選手団キャンプ、アメリカ選手と交流等
JRA(日本中央競馬会)	馬・ポニー・講師派遣(馬ふれあい出張授業等)
第一生命保険株式会社	日本女子体育大学を含めた三社覚書締結、施設区民開放
明治安田生命保険相互会社	ボッチャ世田谷カップ出場・物品協賛
日本電気株式会社(NEC)	ボッチャ世田谷カップ出場・物品協賛
東京海上日動火災保険株式会社	ボッチャ世田谷カップ出場・物品協賛
株式会社読売巨人軍	ベースボールアカデミー・教室運営(財団事業)
東京フットボールクラブ株式会社	親子観戦デー・観戦イベント(財団事業)
株式会社モルテン	小学生ドッジボール大会への物品協賛(財団事業)
日本大学スポーツ科学部	相互連携協定締結
日本女子体育大学	第一生命保険株式会社を含めた三社覚書締結、ランニングイベントでの実技補助員派遣、障害者対象事業での運営補助員派遣(財団事業)
国土舘大学	世田谷246ハーフマラソンでのAED隊派遣(財団事業)

(4)スポーツを支える担い手

⑥プロチームとの連携

- 協定を締結しているプロチームとの連携によるスポーツ推進を行っている。

プロチーム	連携内容
リコーブラックラムズ東京 (ラグビー)	区における生涯スポーツ社会の実現を目的に、株式会社リコー相互連携・支援協力に関する協定を締結(令和2年6月26日) ラグビーを通じた地域貢献活動等の取組みを一層進め、いつでも、誰でもスポーツに親しみ、いつまでも健康に過ごしていける社会を目指すため 【協定の主な内容】 (1)ラグビーを通じた地域でのスポーツ活動 (2)ラグビーを通じた青少年健全育成の取組みへの支援 (3)ラグビーの普及 【ふるさと納税の取組み】 ふるさと納税の記念品として、新たにリコーブラックラムズ東京グッズを追加 【活動内容】 地域イベントへの参加、スポーツ体験機会の提供

(5)世田谷区の主なスポーツイベント

ボッチャ世田谷カップ

先導的共生社会ホストタウンとしての取り組みを推進するため、東京2020パラリンピック競技大会を契機としたパラスポーツ推進の取り組みの1つであるボッチャの交流大会を開催。

実績	令和3年度	令和4年度
日程	11月27日(土)	予選会:6月18日 本大会:8月20日
参加人数・団体数	16チーム	16チーム

世田谷246ハーフマラソン

区民の健康増進を目的に実施。駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場を拠点に、国道246号線をはじめ、区内の主要道路をコースとしている。定員の拡充や出走権を体験型記念品としたふるさと納税枠を設けている。

実績	令和3年度	令和4年度
日程	11月14日	11月13日
参加人数	1,046人 (ふるさと納税枠90名含む)	1,234人 (ふるさと納税枠97名含む)
ふるさと納税 寄附金額	490万円	485万円

障害のある人もない人も共に楽しめる スポーツ・レクリエーション交流事業

パラスポーツ推進の人材育成を目的とした講習会と、障害のある人のスポーツへの参加機会拡充・障害のない人との交流促進を目的とした体験会を実施。

実績	令和3年度	令和4年度
日程	講習会:令和4年1月29日 体験会:新型コロナウイルス感染症の影響で中止	講習会:11月27日、12月11日、 令和5年2月19日 体験会:12月11日、 令和5年2月19日
参加人数	講習会:16人	—

パラスポーツ体験会

パラスポーツの普及啓発、体験の機会の拡充を目的とした、複数種目からなるパラスポーツ種目の体験会を実施。

実績	令和3年度	令和4年度
日程	新型コロナウイルス感染症の影響で 中止	令和5年1月8日
参加人数	—	—

※令和4年度は「ユニバーサルスポーツイベント in SETAGAYA」に名称変更

(6) 関連政策・計画

① 健康・福祉

- 健康・福祉関連の計画においても、スポーツ・レクリエーションの実施が推進されている。

政策・計画	関連事項
健康せたがやプラン	<ul style="list-style-type: none">■生活習慣病予防: パラスポーツ、レクリエーション推進■子どもの体力づくりの推進: スポーツ教室、部活動への支援■高齢者の健康長寿: 健康体操の機会拡大
第8期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	<ul style="list-style-type: none">■生涯スポーツの推進① 中年世代から取り組めるスポーツ・レクリエーション事業の実施② 健康・体力を保持増進するためにスポーツをすることの必要性に関する啓発方法を検討・実施③ 区民ニーズを踏まえ、身近な場所でスポーツができる場の整備の検討・実施
せたがやノーマライゼーションプラン(世田谷区障害施策推進計画)	<ul style="list-style-type: none">■スポーツの推進① パラリンピック競技の普及啓発事業の実施② スポーツ施設の整備③ パラスポーツ活動を支える人材の育成④ 各イベントなどにおけるパラスポーツのPR(体験会等)の実施

(6)関連政策・計画

②教育・子ども

- 教育・子ども関連の計画においても、スポーツ・レクリエーションの実施が推進されている。

政策・計画	関連事項
第2期世田谷区教育ビジョン調整計画	<ul style="list-style-type: none">■総合型地域スポーツ・文化クラブによるスポーツ・文化活動の促進■児童・生徒の体力向上の取組みの推進■中学校の部活動の充実及び支援
世田谷区子ども計画(第2期)後期計画	<ul style="list-style-type: none">■総合型地域スポーツ・文化クラブによるスポーツ・文化活動の促進■スポーツの機会と場の充実<ul style="list-style-type: none">①スポーツをする機会や環境の充実②子どもたちの体力向上■スポーツ等の交流による多文化共生の意識づくりの推進

(5)関連政策・計画

③東京2020大会のレガシー継承

- アメリカ合衆国のホストタウンとして登録して、「先導的共生社会ホストタウン」としてパラリンピアンとの交流をはじめ、USOPCのキャンプ受け入れ、馬術競技会場の提供、パラスポーツ観戦等、ユニバーサルデザインまちづくりの事業を実施しており、ツーリズム・教育などとあわせて東京2020大会のレガシーとして継承していく必要がある。

<東京2020大会に向けた世田谷区の実施</h4>

- 東京2020大会の気運醸成事業の実施
- アメリカ合衆国選手団と区民の交流
- 馬術競技および馬術振興拠点としてのPR
- パラリンピック競技の普及啓発事業の実施
- パラリンピック競技をはじめとするパラスポーツ体験会の実施
- オリンピック・パラリンピック教育推進校の取組み
- ホストタウンとしてのスポーツ交流事業・文化交流事業の実施
- スポーツ施設のバリアフリー化、機能充実
- 共生社会ホストタウンとしてのパラスポーツの推進を通じた共生社会実現に向けた取組み